

K S K R  
No. 47  
発行2002年5月

# パンジーだより



はっしんきち ザ☆ハート 堂々オープン



左上 ザ☆ハートの玄関。かっこいい。  
右上 ザ☆ハートの面々で～す。今日は、山田くんが出張です！  
下 事務所。一人に一つ机がある。

## 「はっしんきち ザ☆ハート」ができるまで

この、ザ☆ハートが始まるまでいろいろありました。まずは、事務所探しをしました。最初は、近鉄東大阪線の吉田駅を探しましたけど、駄目でした。そして、この荒本駅の周辺でやっと見つけました。それからだったと思います。次に事務所の名前を決めました。「ザ☆ハート」の意味は人間の心臓から血液を送り出すように、ここからいろんなことを発信していければという意味です。この私が名付け親です。めちゃくちゃ嬉しいです。みんなも賛成してくれたからね。それから、壁と床を選びました。そして、メンバーを選んで面接をしました。選ばれたメンバーと話をしました。リーダーと副リーダーと、そして、事務局長を決定しました。ちなみに、私が事務局長です。なんか知らないけど嬉しいです。そして、この6月に「きらっといきる」の番組に出る予定です。えーっ、緊張します。でも、嬉しいです。全国放送ですから。出演決まったら、ぜひ見てください。テレビに出ることめったにないもんなあ。（中山千秋 事務局長）

## ザ★ハート メンバー紹介



生田進（代表）



ピープルファーストを広げるために事務所を作りました。活動の中身は事件がおこったら、いろんなことを書かなければなりません。ピープルファーストのみんなの力を合わせて、言うていかなあかん。あちこちの作業所にも力をかしてもらって、言うようにしたらええんちゃうか。パンジーだけでは力ないから、ピープルファーストで全国に言って、協力してもらう。そこは事務所できたからやるもんやならあかん！

西尾健一（副代表）

副リーダーやります。名刺も作りました。朝は8時55分の近鉄バスに乗って事務所にきます。帰りもそうです。運転手さんはぼちぼち。運転手さんによって機嫌がいい人と悪い人がいてるから。いい人のバスは乗り心地がいい。悪い人の時は緊張してのらなあかん。一般の人はぼくたちのやってることをもっと理解してほしい。



中山千秋（事務局長）

あのね、全国の芸能人の人たちにピープルファーストを知ってほしいな。それが私の夢なんです。いつかはピープルファーストの世界大会にでたいな。外国人の友達作りたい。障害者だから差別をなくしたいなと思っています。障害者の人が支援者、一般の人と恋をしたりできたらいいな。障害者やからって一般の人好きになったらあかんことない。



### 支援者より

新しい事務所を始めるということは想像以上にたくさんのこと話を話し合い、決めていかなくてはなりませんでしたが、一つひとつを当事者の人たちと決めていきました。3月末には、それはそれは立派な事務所ができあがり、多くの人の協力で集まつた机やソファなどを運び入れ、形になっていくと、「いよいよ始まるな」という実感が湧いてきました。

4月1日から「はっしんきち ザ★ハート」が始まったわけですが、一人ひとりがいろんなことにがんばっています。最初の1週間は、備品の買い物をしたり、掃除の担当や昼食のことを決めたり、近所への挨拶回りなどと準備期間でした。2週目からは、本格的に仕事が始まりました。障害者虐待の事件のこと、ふれあい祭り・パンジー祭りの準備、新聞作りなどなど。やりたいこともたくさんあります。始まったばかりで、うまくいかないこともあるかもしれません、このメンバーなら、楽しい事務所になること間違いないです。「ピープルファーストをたくさんの人々に広めるため、ゆっくり話し合いをして当事者で考えて決めていく」そんな事務所になればいいと思います。

3月までの娯楽にあふれた学生生活とのギャップに戸惑いながら、みなさんとたくさん迷惑をかけながら、何とかやっていました。なんだか忙しくて、あたふたした毎日ですが、とても充実した毎日もあります。これからも悪戦苦闘しながら、がんばっていきでのどうぞよろしくお願いします。

（やまだよしこ）

## ザ☆ハートメンバー紹介



## 宮田隆志（講演担当）

机を置いたり、買い物をしたり、パソコンなどを置いたり、最初はバタバタしました。ザ☆ハートの仕事の時間は朝9時30分から午後4時に終わります。これからはピープルファーストを広めたいと思います。よろしくお願ひします。もっとピープルファーストについて学びたい。まだ家にいると思うので、外に出て行って欲しい。



## 梅原義教（会計担当）

今年は阪神絶好調！！あんな、ここでいっぱい新聞作ったりやりたいなと思ってる。障害者がなんかあったらここで考えてやりたいな。お金が入ったら、もっと給料をあげたいな。だからいろいろやりたいなと思ってる。ピープルファーストはおもろい。みんながいっぱいいろいろな話して、明るい。だからピープルファーストを教えてあげたいなと思ってる。



## 肌勢俊一（カメラマン）

はじめのうちはちょっとおちつかん。今もまだ。パンジーⅡのほうが落ち着く。でもここでも慣れたらやっていけそう。カメラマンの仕事して慣れたらNHKの人みたいになれる。でもあんまりおもえへん。カメラおもしろい。

## 山田浩（かきルームリーダー）

かきルームではリーダーやから全体の責任があるから、がんばっていく。かきルームは出かけたり、料理作ったり楽しい。みんなも楽しんでいると思う。ピープルファーストのことはよく分からないけど、金剛コロニーの事件も絶対許せない。2度と起こらないようにしていかなあかん。

**☆昼食を作ってくれるボランティア、募集中。**  
今は外食ばかりで過ごしています。時間がかかるたり、栄養が偏ったりするので、誰か作ってもらえないか。希望の人は、下記までご連絡ください。



## はっしんきち「ザ☆ハート」連絡先

〒 577-0023 東大阪市荒本 2049-4 ウィダーホール 23-101

TEL:06-6789-6637 FAX:06-6789-6649

HP:<http://www.theheart.jp> MAIL:[info@theheart.jp](mailto:info@theheart.jp)

パン部門より

“いろんな仕事があって楽しい！！”



パン部門では、今年から、毎週金曜日の午後に『パンや会』を開くことになりました。『パンや会』では、幼稚園の給食パンのメニューを考えたり、パンの営業の相談をしたり、いろんな話を当事者中心で話合っていきます。

さて、一回目のパンや会では、パンやのリーダーを決めました。3人が立候補したのですが、選挙の結果、リーダーは青山さん、副リーダーは溝端さんに決まりました。

その後、みんながそれぞれ日頃感じていることや自分がやりたい仕事について話をしました。「パンをオーブンで焼いたり、卵を塗ったりしてる」「鉄板掃除はおれにまかせろ！」「パン生地をまるめるのが楽しい！」「配達で頑張りたい！」などたくさん話が出ました。

4月から、新しくパン屋に加わった人たちも、それぞれが「パン（の仕事）はいろいろ（な行程が）あって楽しい」、「自転車でもっと配達に行きたい。新しくできた『ザ・ハート』にも行きたい」と意気込みを語っています。「みんなパン作りが楽しいんだなあ」とつくづく感じます。何がどういうふうに決まるのか、まだまだわかりませんが、今後ともパンジーのパンやをどうぞよろしくお願いします。 (うめもと)

就労支援の  
現場から



ピンクのユニホーム

今、彼女はあこがれであった「ピンクのユニホーム」を来て、月曜から金曜の午前 10 時～午後 3 時まで働いています。自分自身の力で就職を実現したことは大きな自信になったと思いますが、仕事を覚えることについても人間関係についても更なる「成長」を求められています。それは彼女にとって相当なストレスになっていると思います。働いているなかま同士が集まり、そういうストレスを吐き出し、共感し合える場が必要だと感じています。また、障害者だけに「変化・成長」を求めるのではなく私自身をはじめとした支援者・職場の同僚・家族が、彼女を支えるために何ができるのかも問われていると思います。伴走者として長期的な支援を続けることで、彼女が働き続けることができ、経験や人間関係が拡がり、人生の新たな段階が切り開けることを望んでいます。 (豆子)



「おなじ とうじしゃとして、ゆるさない！」

4月2日の産経新聞の夕刊に、大阪の知的障害者の入所施設でおきた虐待事件がのっていました。どらえもん会・わくわく会・かえる会では、この虐待事件について話し合いをしました。

#### <事件の内容>

知的障害者がすんでいる金剛コロニーで、女性の利用者4人が、職員に逆さづりにされてゆらされる、女性の利用者の着がえ中に男性の職員が部屋に入ったという事件がありました。虐待した職員は、罰を受けました。

#### <当事者の声>

わたしたちは、同じ当事者として、この事件をゆるすことが できません。  
ひどいことをされた 当事者のみかたになりたいし、こんな事件が二度とおこらないようにしていきたい！

## かきルームの人々



毎週木曜日、パンジーⅡの3階は「かきルーム」になる。「かきルーム」は昨年末頃から始めた、主に在宅で過ごす人たちのための、日中活動の場である。第1回目は5名が参加し、この集まりの名前を考えてもらったところ、「かきルーム」に決まった。この日の朝、柿を探りに行った参加者の中多さんの意見になぜか「それがいい！」となり、このような不思議な名前がついた。

「かきルーム」は、次週の予定をみんなに考えてもらっている。これまでに、カラオケ、レンタルビデオを借りて観る、日帰り温泉、手打ちうどん作り、忘年会、動物園に行く…といろんなことをした。当初は、毎回違うことをするのではなく、部屋の中で何か決まったことを、と考えていた。しかし参加者たちは、みんな自信がなく、在宅で過ごさなければならない、これまで受けた傷の深さが感じられた。そこで、みんながしたいと思ったことをしてみることで、自信を取り戻す機会にしよう、という目的ができた(後付けだけど)。また、参加者を引っ張るのは、経験豊富なリーダー、生田さん、梅原さんの2人に頼んだ。なかなかしたいことが口に出せなかつた参加者が、リーダーの誘いに乗って、どんどんおしゃべりになってきた。こんな感じで、週に1回だけ楽しめる場になり、人とのつながりを感じてもらえばいいなあと思う。

今年度、「かきルーム」の参加者だった山田さんは、「自分たちで決める」ことのおもしろさを知り、「はっしんきち ザ☆ハート」の一員になった。苦手な早起きもなんのその、毎朝1番に出勤しているそうだ。そして、「かきルーム」にはリーダーとして参加する、と張り切っている。

## グループホーム世話人・介護者新人？紹介



山本 寿

昨年 11 月からグループホーム「つばさ」の世話人をさせてもらっている山本寿です。それまで、授産部門を担当していたのですが、実際グループホームに入ってみると、入居メンバーの昼間とは違う別の姿、表情に新鮮さと驚きを感じながらも、グループホーム=家なのだから、それが当然といえば当然なのだなーと思っている今日この頃です。

食事、入浴、睡眠等、あたりまえの生活を普通に継続して支援していくことの難しさと大切さを今、実感しています。

### 渡辺 泰之

こんには 26 才で、乙女座です。

血液型は B 型です。

趣味はバンド活動をしています。楽器はベースをひいています。曲は、自分達でつくったオリジナルの曲を演奏しています。音楽も良く聴いていて、知らない人も多いと思いますが、「ジャンヌダルク」「ラクリマクリステー」「カグト」などが好きです。

パンジーでは、みんなとのコミュニケーションが盛り上がり笑っていっしょに笑っているときが一番楽しいです。みんなの笑顔を大切にこれからも頑張っていこうと思います。



韓 七 菊

年齢：23 歳／血液：AB 型／星座：蟹座

趣味：スポーツ（色々チャレンジしたい！）&撮影

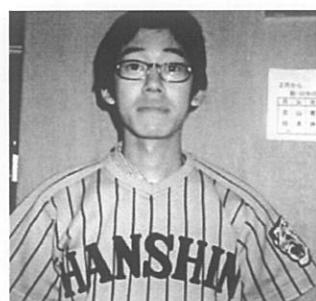
グループホームの生活を支援しながらメンバーさんの性格、こだわり、どんなふうに介護するか、どうやって会話をするなどについて、心を開いてメンバーさんと付き合いたいと思っています。それに介護者が全部するのではなく、メンバーさんができることは、まかせる支援をしながら、楽しくしたいと感じています。よかったです、先輩達に教わったおかげで、メンバーさんとちゃんと付き合えて、覚えてくれたり笑ってくれたり話もしてくれたりしていることです。あまり長い付き合いではありませんが「今までありがとう」、「ずっといてほしい」。こんな言葉を聞いた時、自信が持てます。

### 柏木 徹朗

昨年、11 月よりグループホームで働いています。歳は 22 才になります。山羊座の B 型です。趣味は、野球です。僕は、阪神ファンで今年の星野さんは最高です。

何回でも試合を観に行きたいです。

パンジーでは、日常生活の中でメンバーの方々と楽しく元気に過ごしていけたらなと思います。どうぞよろしくお願ひします。





## 「支援者」としての再生

講師：上田晴男（西宮のしうがい福祉をすすめるネットワーク世話人）

4月5日、パンジー勉強会の一回目があった。講師は上田晴男さん。最初に「3年未満の職員は何人いるか」と聞く。約15人ほどの職員が手を挙げた。次に「3年から7年の職員」には、5人の職員が手をあげる。7年以上の職員は「どうでもいい」と、なんだか冷たい。

多くの福祉施設に関わってきた上田さんは「福祉施設の職員は、3年くらいまではピュアで、仕事に対してのモチベーションを持って前向きな人が多い。しかし5年を過ぎると仕事をただこなすだけ、自分の範囲以外の仕事はしなくなる、という傾向がある」と言う。そうなるには個人の問題が3分の1、あとは組織の問題が3分の1、残りの3分の1は、しきみの問題があるかもしれないと言う。中堅以上の職員が変わらないと組織も変わらない。中堅以上の職員へのエールを込めた厳しい一撃であった。

勉強会のテーマは、「支援者の再生」。「当事者のエンパワメントはよくいわれているが、むしろ当事者にかかわっている支援者のエンパワメントが必要ではないか。職員が利用者にどんな形で関わっていくかで、利用者も支援者も変わっていくと考えている」。5年以上たってもモチベーションを持ち仕事をしていくためには、「再生」が必要なのだ。

さて、この勉強会は参加者が発言したり、作業をするというワークショップ形式で進められた。自分が何を考えているのか、組織としてはどういう傾向があるのかがはっきりする。第一問と、それに対する答えを紹介したい。

<Qその1>  
利用者との関係で、  
あなたは職員として  
何を提供しているか？

<答えその1>　　楽しむこと（5票）、せいかつの一部、安らぎ、人と人とのつなぐこと、食事、家事、働く場所、自分らしい生活ができること、いい意味での退屈ではない時間、あたり前の生活、情報、目、おしゃべり、生活を支える、安定した生活、自信、関わり、支援、関係、

上田さんはこれを見てコメントをする。「パンジーは通所授産施設で、通っている人たちには働くことを支援するのが基本的な役割だが、働くことと書いている人は少数だ。みんなの第一感としては、生活を支える、しかも楽しい生活を支えるんだと思っていることがわかる」。さらに質問を重ねて行ってわかったことは、支援のイメージとしては精神的なことや、楽しかったね、みんなで何かをやったね、というのはあるが、具体的な成果物がイメージされていないのも一つの傾向だということだった。

約2時間の密度の濃い勉強会だった。参加した職員の感想を一部紹介する。「ポストイットを使うのがおもしろかった。誰が言ったのかがわからないのがいい」「紙を渡されたときになんて書いていいのかな？」と思ったが、書いたことを評価されるのでなく何を書いてもいいんだなとわかつておもしろかった」「第一感で書くというのは自分の身にしみていることが出るのがいい」。

（レポーター：よしだ）



## 眠りたい、寝られない（2）

中新井 澄子

暑かった昨夏の終わり、仕事中にもかかわらず眠りこけているメンバーを見ながら、眠ること、休憩することについて書き始めたのだが、今年も早や夏日の到来である。

新年度になり、新しい仕事、新しいメンバーも加わった。また、仕事の場所や内容が変わった人もいて、皆いささか緊張気味である。緊張が仕事への意欲につながっている人も、身体の不調を訴える人もいる。もちろん、どこへ行こうが何をしようが全く変わらない人もいる。

このように環境の変化に対する適応のプロセスは、それぞれその人らしさが發揮されるので、メンバーもスタッフもお互いを理解するのによい機会だ。張り切りすぎている人も心身症気味の人も、退行している人、少し落ち着かない人も、1～2ヶ月もすれば、新たな心の居場所を見つけていくだろう。そのためにも、この時期は前回紹介したように社会のペースではなく、各々が自分の身体のペースに合わせて、ゆっくりじっくりやっていくてほしい。

眠りや休息は、生命維持に不可欠なものだが、前回にも書いたように、仕事中のそれは怠惰や逃避などと否定的な評価になりやすい。Eさんは、とっても気だるそうなときで、率先して仕事をする。無駄な時間を過すような自分を認めたくないからだ。しかしイライラしていて攻撃的な言動が目立つ。「しんどいときは少し休んだ方がいいと思うよ」と声をかけたら、「そんなことできません！」とどなられた。そんな彼女も指にケガをして仕事がやりづらかったとき、初めて自分から横になってリラックスしていた。彼女なりの大義名分で堂々と休むことが出来たのだろう。こんな機会の中から、社会の価値観ではなく、自分からだと心のここちよさに気づいて、生きるペースにしてほしいと思った。

w i l l n o t (やる気がない) と c a n n o t (出来る状態ではない) を見分けるのはむつかしい。睡眠不足や疲労、薬の副作用等で脳の働きが鈍くなると、自分に関係のないものや音にも過敏に反応して多動多弁になり能動的に見えるからである。こんな時は、出来るだけ外からの刺激のない場所で、本人の最もリラックスできる姿勢（体を動かす人もいる）で、慣れていること（安心して出来ること、何もしないことも含まれる）をしよう。就寝できればいいが、出来なくてもよけいな混乱を予防することになる。

逆に睡眠はとれているが、うまく覚醒できないまま動いている場合もある。朝から食欲がなく機嫌も悪く仕事にものらない。こんな時は、血液の循環をよくして、脳の活性化を促すようなことをしたい。例えば、好きな食べ物や遊び、散歩、カフェイン入りの飲み物（コーヒーとかドリンク類）熱めのシャワーなど。

本来、怠けなくて怠ける人間はいないのではないか。仕事中ブラブラしたり、眠ったりするのは、それなりの理由があるはずである。いや、それなりの意味があるのかもしれない。

## 新人紹介



山田浩



こんにちは。「みのり園」という作業所をやめて、ずっと家にいました。生田さんと滝川さんが家に訪問してきて、パンジーを知りました。そこからパンジー祭りやわくわく活動に行ったり、毎週木曜日に「かきルーム」に参加していました。4月から「はっしんきち ザ☆ハート」で働いています。「かきルーム」ではリーダーをすることになりました。ザ☆ハートでぼちぼちやりますので、よろしくお願ひします。

大倉啓



初めまして、大倉といいます。昭和50年8月5日生まれの26歳です。高槻在住です。趣味はインターネットや野球観戦とサッカー観戦です。

以前、私は高槻の無認可の作業所で障害を持つ人の作業支援をしていました。そこでは主に内職作業が中心でした。パンジーはいろいろなことに取り組んでいて、メンバーの方々もいろいろな人がいて勉強になることが多いと実感する毎日です。私は現在パン部門でメンバーたちの作業の支援を行っています。慣れないこともありますですが一生懸命がんばりますのでよろしくお願ひします。

河本麻妃子

4月から、パンジーⅡで皆さんとご一緒にさせていただいている、河本麻妃子です。パンジーⅡに来て、ハンガー作りやじゃがいもの芽とり、ピラ配りや園芸（草むしり）などメンバーの方たちと楽しく作業しています。でも、分からぬ事がいっぱいです。迷い、悩み、考えてしまいます。そんな時メンバーの方たちが私をやさしくサポートしてくれます。

ありがとうございます。これからも一緒にボチボチと頑張っていきましょう。  
宜しくお願ひします。



上中智子



上中智子です。4月からパンジーⅡわくわくで働くことになりました。22歳らしい大人っぽさとバリバリ働くキャリアウーマンを目指しています。趣味はアンパンマンで特技はつまさき立ちです。好きな食べ物はコアラのマーチです。ウクレレを練習中なので一緒に歌いましょう。よろしくお願ひします。

## 新人紹介



### 三村信雄さん



4月からパンジーⅡにきた三村さん、毎日元気に仕事をされています。

ハンガーの仕事を中心に、どんどん仕事をしています。

仕事をしながら歌を口ずさんだりしています。

「おどるぽんぽこりん」やキロロの歌を歌ってくれます。  
すごく笑顔がすてきで、見ていてこっちも楽しくなります。  
仲間の名前も覚えて、少しずつパンジーにも慣れてきました。  
これからも、よろしくお願いします。



### 豊田 栄一さん

今年の春に学校を卒業しパンジーに来ました、豊田栄一さんです。スポーツが好きで昼休みに相撲やキャッチボール、サッカーをしています。今は日本地図のパズルにもこっています。先輩の山下さんも楽しい人で一緒に遊ぶ事もあります。仕事では弁当のもりつけをしていて、福田さんたちが優しく教えてくれるので楽しく仕事ができます。もりつけのリーダーをしている時も先輩たちがそばにいてくれるので安心してできます。先輩たちと楽しく仕事をしながら、友達もたくさんできたらいいなと思っているので、これからもよろしくお願いします。

### 山本博さん

以前からショートステイでパンジーには来ていましたが、4月から毎日パンジーにくることになりました。パンジーでは、ハンガーの組み立てのゴム付け、バネ付けの作業を手早く、たくさんしています。また、厨房の人が野菜を切ったり食器を片づけたりと、忙しそうに動いているのを見るのが大好きで、じっと見て過ごすこともあります。

パンジーにも慣ってきて、最近は車で配達にも行くようになり、新たな楽しみが増えました。



## 書き損じハガキ、(未使用)切手を送ってください!

ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていますか？ 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力お願いします。

ご協力ありがとうございます。

<後援会費を振り込んでいただいた方>（敬称を略させていただきます）

泉原貴康

<カンパ・寄付をいただいた方>

柳久子 松野明子 三谷恵子 井上ツヤ子 赤川由里子 楠永哲夫 泉原貴康

<書き損じハガキ・未使用切手・未使用テレホンカードをお送りいただいた方>

宮田隆志 中新井澪子 西田美智子 明和グラビア労働組合 谷山洋子

一九九六年五月一日 第三種郵便物認可

毎日発行

領価二五〇円

# パンジーまつり2002

障害者が地域で当たり前に生きていいける社会をめざして

日時：5月25日（土）

10:00～15:00（雨天決行）

「パンジー」／「パンジー2」2カ所同時開催

パンジー2にて

移動どうぶつ園！

手品・ライブ・  
若江中学プラスバンド演奏  
楽しい模擬店がたくさん！

パンジーにて

バザー

パンジーでは、  
後援会員を募集  
しています



賛助会員	1口	1ヶ月	500円
本会員	1口	1ヶ月	1,000円
特別会員	1口	1ヶ月	5,000円
郵便振替番号 00950-1-300551 クリエイティブハウス「パンジー」			

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8  
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818  
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会  
大阪市東中浜2-10-13  
緑橋グリーンハイツ1階